

高知工科大学開学記念日行事 特別講演会

地震・津波 防災の最先端

—来るべき南海地震に備えて—

とき 2011年11月7日(月)

12:30開場／13:00開演(16:00終演)

入場
無料

ところ 高知工科大学講堂 申込不要

★事前申し込み等は不要ですが、満席の場合には、入場を制限させて頂く場合があります。

高知工科大学では、南海地震による高知県各地の被害予測を精度良く行う研究が進められています。その成果は高知県各自治体等の地震・津波に対する防災計画に役立つものです。講演会ではその進捗状況をご報告します。この研究には、我が国における最先端の研究成果を活用させていただいております。

そのうち、ご指導いただいている最先端研究に従事されているお二方——地理情報に多数の数値解析手法を載せ、地震災害と被害を都市丸ごとで計算する「統合地震シミュレーション」の開発を進める東京大学地震研究所・堀宗朗先生。東京大学地震研究所・古村孝志教授にも師事し、現在は高精度津波数値予測システムの開発、津波災害対策支援に取り組む東北大学大学院工学研究科災害制御研究センター長・今村文彦教授ならびに首藤伸夫同大名誉教授のもとで研究を進めておられる今井健太郎先生——にご講演いただきます。

招待講演① 13:25～

津波予測の最先端

東北大学大学院工学研究科 災害制御研究センター 助教 今井 健太郎 氏

招待講演② 14:10～

地震防災シミュレーションの最先端

東京大学地震研究所 災害科学系研究部門 教授 堀 宗朗 氏

取組紹介 15:15～

高知工科大学の取組み

高知工科大学システム工学群 教授 甲斐 芳郎



高知工科大学

KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

講師紹介／講演要旨

招待講演①【13:25～】

津波予測の最先端



東北大学大学院工学研究科
災害制御研究センター 助教

いまい けんたろう
今井 健太郎 氏

将来に発生が危惧されている南海トラフ巨大地震に向けた津波災害予測を最新の知見に基づき紹介します。さらに、2011年東北地方太平洋沖地震による激甚津波災害を教訓とした津波防災の今後の展望について言及します。



プロフィール

2008 秋田大学大学院工学資源学
研究科博士後期課程 修了
博士(工学)
2008 東京大学大学院情報学環
総合防災情報研究センター
特任研究員
2010 東北大学大学院工学研究科
災害制御研究センター
津波工学研究分野 助教
【専門分野】津波工学、歴史地震・津波

招待講演②【14:10～】

地震防災シミュレーションの最先端



東京大学地震研究所
災害科学系研究部門 教授

ほり むねお
堀 宗朗 氏

世界最高性能の次世代スパコンを使い、構造物や都市の地震シミュレーションが研究されています。この地震防災シミュレーションの現状と将来展望を紹介します。



プロフィール

1984 東京大学工学部土木工学科卒業
1985 ノースウェスタン大学
土木工学専攻修士課程修了
1987 カリフォルニア大学
サンディエゴ校基礎工学
応用力学専攻博士課程修了
1991 東京大学工学部
土木工学科助教授
1995 東京大学地震研究所助教授
2001 東京大学地震研究所教授
【専門分野】応用力学、地震工学

取組紹介【15:15～】

高知工科大学の取組み



高知工科大学
システム工学群 教授

かい よしろう
甲斐 芳郎 氏

高知工科大学では、今年夏に中四国地方最速のスーパーコンピュータを導入しました。このコンピュータに今井先生、堀先生の成果を導入して行った、須崎市を対象とした地震応答解析と津波解析の評価事例を紹介します。



プロフィール

1980 東京大学工学部建築学科卒業
1982 東京大学工学系研究科
建築学専攻 修了
1982 清水建設株式会社(～2009)
2009 独立行政法人防災科学技術研究所
兵庫耐震工学研究センター
研究員、業務室長
2010 独立行政法人防災科学技術研究所
兵庫耐震工学研究センター
業務室主幹
【専門分野】建築耐震工学、防災工学

コーディネーター

高知工科大学地域連携機構 地域連携センター長

なかた しんすけ
中田 慎介 氏



高知工科大学
KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

0887-53-1111 (代表)

fax.0887-57-2000

<http://www.kochi-tech.ac.jp/>



※車でご来学の場合、大学東駐車場をご利用ください。